

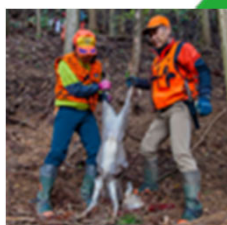
<安定供給に向けて> ジビエの供給拡大に向けた取組（捕獲個体の搬入促進）

- ジビエの利用拡大に向けては、捕獲個体をジビエ処理加工施設に速やかに搬入することが重要だが、地域によっては、捕獲現場とジビエ処理施設が離れており、捕獲個体をジビエ利用に適した状態で搬入することが難しいといったことが課題。
- こうした課題を解決するため、捕獲現場の地理的条件等に合わせた新たな搬入機器等の活用を推進。

（捕獲個体の広域搬入のイメージ）

保冷車を改造したジビエ運搬車で個体を冷やしながら搬入可能。ウインチを実装し、個体を車外から庫内に簡単に引き上げ。

小型保冷運搬車（保冷車へのウインチの取付け等）



捕獲現場の近くで捕獲後すぐに一次加工（枝肉）まで処理可能。枝肉にしてジビエ処理施設へ搬入。

移動式解体処理車（ジビエカー）



ジビエ処理施設



二次処理、商品化。



生体搬入

捕獲した個体をそのまま施設へ搬入。止め刺し作業を行う人手不足に対応。



可搬式ジビエ処理施設

あらかじめ海上コンテナ等に設備一式を組み込み、現地に運搬することで、狭隘な場所にも設置可能。施工期間も短縮。
1基で一次加工（枝肉）、2基連結で二次加工（部分肉）まで処理可能。